

平成21年1月29日

香川大学瀬戸内圏研究センターの設置について

香川大学では、瀬戸内圏の諸課題を解決するべく調査・研究を行い、その成果を地域社会に還元させ、地域の活性化を図るとともに、瀬戸内圏が育んできたその風土や豊かな環境を地域の財産として学問的に発展・継承させることを目的として、平成21年3月1日付けで、瀬戸内圏研究センターを設置することとしました。

香川大学は、瀬戸内圏研究センターを中心として、瀬戸内圏に関する「知の総合拠点」となることを目指し、瀬戸内圏に豊かな社会を築く役割を担います。

◆瀬戸内圏研究センターの概要

瀬戸内圏は日本の文化の源ともいえる地であり、ヨーロッパ文明が地中海から広がったのと類似しています。香川大学は、瀬戸内圏の中核都市として発展してきた高松にあって、地域の「知の総合拠点」を形成することを使命としています。本学では、古くから、赤潮研究、ため池の研究、水利用、生活排水対策、廃棄物対策、遠隔診断などの優れた研究が続けられてきました。そこで、地域に根ざした研究として、瀬戸内圏の諸課題を解決するべく調査・研究を行い、その成果を地域社会に還元させ、地域の活性化を図るとともに、瀬戸内圏が育んできたその風土や豊かな環境を地域の財産として学問的に発展・継承させることを目的として、瀬戸内圏研究センターを設置することとしました。

センターでは、主に次のことを行います。

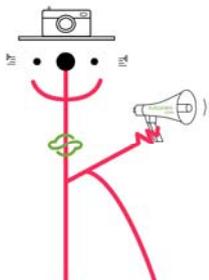
- (1) 学長戦略調整費による研究推進資金において「瀬戸内圏研究プロジェクト」を指定し、重点的にプロジェクト推進支援を行う。
- (2) 解決すべき新たな課題の発掘のために、行政や企業等との協議の場を設けるとともに、瀬戸内圏に関する活動団体や地域住民からも幅広く意見を収集し、それらを反映させるための施策を検討する。
- (3) 行政や企業等との地域連携による受託研究や共同研究を推進する。
- (4) 瀬戸内圏研究に関するデータベースを作成し、様々な情報の集積、分析及び発信を行う。
- (5) セミナーやシンポジウム等を開催し、研究成果を幅広く公開する。
- (6) 調査・研究を行った成果に基づき、国、県、市町村等の行政機関に対し、政策提言を行う。

◆設置日

平成21年3月1日

◆瀬戸内圏研究センターの組織

センター長、副センター長、センター担当教員、研究員



➤ お問い合わせ先

香川大学学術室研究協力グループ 造田、五味

TEL：087-832-1314

E-mail：sangaku1@jim.ao.kagawa-u.ac.jp

香川大学広報センター 087-832-1027